



大学トップマネジメントフォーラムに
楠見晴重学長が出席



東京・虎ノ門で開催された「大学トップマネジメントフォーラム2009」で各大学の学長・総長と議論を交わす楠見晴重学長(右)

『大学トップマネジメントフォーラム2009』が10月31日、東京・虎ノ門のニッショーホールにて開催された。「大学から社会への回答～変革期をタフに乗り切れる人材育成～」をテーマに、関西大学、神奈川大学、東洋大学、一橋大学、法政大学、明治大学、立教大学、早稲田大学の学長・総長が出席。基調講演は株式会社ドリームインキュベータ代表取締役会長の堀紘一氏による「新時代に企業が求める人材像」。パネルディスカッションでは「変革期をタフに乗り切れる人材育成」について、ジャーナリストの田原総一郎氏がモデレーターとなり、楠見晴重学長をはじめ各校の学長・総長が議論を交わした。

『ウェークアップ! ぶらす』公開シンポジウムを開催

来年4月、高槻ミュージックキャンパスに設置する社会安全学部の開設に先駆け、9月19日、千里ホールにおいて、読売テレビの報道番組『ウェークアップ! ぶらす』の公開シンポジウム「どうなる日本!? 都市の安全と安心～災害を知り、そして備える～」(本学協賛)を開催した。
当日は、竹中平蔵氏(本学客員教授、元総務大臣)、中田宏氏(前横浜市長)、岩田公雄氏(読売テレビ解説委員長)のほか、本学からは河田恵昭教授(環境都市工学部、社会安全学部長就任予定)、安部誠治教授(前副学長・商学部、社会安全学部長就任予定)が出席し、地震の脅威を軸に都市防災について語り合った。会場には約1,000人が集まり、熱心に耳を傾けた。

堺市で市民講演会を開催

関西大学は来年4月、大阪府堺市に「人間健康学部(設置認可申請中)」を開設する。この学部紹介を兼ねた市民講演会「健康で笑いのある心ゆたかな暮らしの実現」が10月3日、堺市民会館で開催された。基調講演は、人間健康学部長就任予定の竹内洋教授による「21世紀の大学」。シンポジウムは「人間健康学部がめざすものー健康づくり支援と地域連携ー」をテーマに行われ、人間健康学部就任予定の教授らが意見交換を行った。

高橋選手、織田選手
バンクーバーオリンピックに向けて好発進

10月10日、フィギュアスケートのフィンランディア杯で、右ひざ手術で約1年半ぶりに競技会へ出場した高橋大輔さん(大学院文学研究科)が故障明けの復帰戦を優勝で飾り、健在ぶりをアピールした。
続いて17日にはグランプリシリーズのフランス杯で、31日には中国杯で織田信成さん(文学部4年次生)が2連勝。12月に東京で開催されるグランプリファイナルへの出場が決定している。
来年2月のバンクーバー冬季五輪に向け、幸先のよい一歩を踏み出した両人。世界の実力者が顔を揃えるなか、4回転を飛ぶプログラムでの戦いが期待される。



バンクーバー冬季五輪への期待がかかる高橋大輔選手(左)と織田信成選手